

## 平成 29 年度第 3 回香川県国民健康保険運営協議会 会議録

- 1 日時 平成 29 年 11 月 8 日（水）17：00～18：10
- 2 場所 香川県庁本館 12 階 大会議室
- 3 委員の出席状況  
〔出席委員 8 名〕 松尾会長、久米川委員、豊嶋委員、安西委員、野上委員、久保委員  
小島委員、美馬委員  
〔欠席委員 3 名〕 中山委員、星川委員、藤井委員
- 4 事務局出席者  
健康福祉部：高木部長、小川次長  
医務国保課：長尾課長、石井室長、白石室長補佐、西部室長補佐、浜田副主幹、中野副主幹、  
三谷副主幹、冨田主任
- 5 傍聴者 2 名
- 6 議事内容  
各議題の審議等について

### 議題 1 香川県国民健康保険運営方針（案）について

事務局から議題 1 について、パブリック・コメントや市町長の意見を聴いた上での、前回運営協議会における運営方針（素案）からの修正箇所等について、説明を行った。

#### 【主な意見、質疑等】

- 1 基本的な考え方（４）運営方針に定めた事項の評価、継続的改善に向けた取組み  
（ 委 員 ） ・ 保険者協議会に関する記載で、素案では他の保険者の取組みを参考に、事業の改善につなげることとなっていたが、今回の案では、県が保険者協議会に積極的に関与となっているものの、後退しているように思える。先ほど、他の保険者の取組みを参考にすることや連携することを説明していたので、それを記載した方がわかりやすいのではないか。
- 3 市町の保険料の標準的な算定方法に関する事項（２）納付金の配分方法  
（ 委 員 ） ・ 市町からの意見で、保険料水準の統一に向けた格差の縮小に関するものが出されているが、もう少し方向性を示すことで県の指導力を発揮していただきたい。  
（ 事 務 局 ） ・ これまで市町とは連携会議の場などで議論を積み重ねてきており、この考え方も連携会議で説明し、担当課長から了承いただいている。香川県は、医療費水準が高いこともあり、保険料水準を統一する時期を今の時点で決めることで、逆に市町の医療費水準を過度に増大しないようとするインセンティブが失われてしまうのではないかと考えている。今、時期を明確にするのではなく、まずは各市町それぞれにインセンティブを働かせて、保健事業などの取組みを行って、医療費分析等も行いながら実際の効果を検証していく必要があるかと考えている。格差縮小に向けて、各市町も意識することが必要と考え、今の時点ではこのような方針としている。

- ( 委 員 ) ・ 県として、保健事業や重複投薬のことを記載しているが、これだけではなく、もっと方向性を市町に示す必要があるのではないかな。
- ( 委 員 ) ・ 年齢調整後の医療費水準を引き下げつつ、格差を縮小する部分は、医療提供体制や年齢構成などの差もあって、明確な文言を入れると円滑な移行が難しいというのであれば、方向性を示せるようにしたらいいのではないかな。
- ( 委 員 ) ・ 各市町で高齢化率がかなり違うから、なかなか平均化するのは難しいし、平均化してしまえば、各市町で不公平感が出てくると思う。ただ、このままでいいのかという意見もあるので、県として努力することを一文加えてはいかがかな。
- ( 事 務 局 ) ・ 何らかの対応ができないか、検討する。

## 議題 2 その他

事務局から、今後の進め方として、次回の運営協議会の予定、平成 30 年度における国民健康保険事業費納付金等の算定スケジュールについて、説明を行った。